

上越市立図書館
子ども読書の日推薦絵本ブックリスト2017

☆ 4月23日は子どもの読書の日 ☆



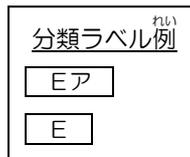
【リストにある絵本の本だなのさがし方】

1 マークを見る…絵本の背表紙に年代別のおすすめマークがはってあります。

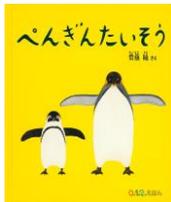
0才～ 3才～ 5才～ 10才～ 保護者

2 絵本の分類について

- 高田・直江津 … 絵を描いた人の五十音順に、カタカナ表記で分類しています。
- 浦川原 … 文または絵を描いた人の五十音順に、カタカナ表記で分類しています。
- 頸城 … Eの表示のみ。



0才～

<p>いろいろばあ 新井洋行/さく えほんの杜 2011 <input type="text" value="SEア"/></p> <p>あか、あお、きいろのえのぐたちが「いろいろ・・・」のかけごえにあわせてだいへんしんします。</p> <p>いろいろな色がいろいろな形に変わって、びっくりたのしい絵本です。</p>	<p>おさんぽおさんぽ ひろのたかこ/さく 福音館書店 2008 <input type="text" value="Eヒ"/> <input type="text" value="SEヒ"/></p> <p>あおいながつをはいておさんぽ。だんごむしさんも、かえるさんも、みんなおさんぽしているね。もっとあるいていくと、みずたまりがあって・・・。</p> <p>あめの日のおさんぽが、たのしくなりそうです。</p>
<p>ペンぎんたいそう 齋藤楨/さく 福音館書店 2016 <input type="text" value="Eサ"/></p>  <p>ペンぎんたいそうはじめるよ いきをすって～はいて～・・・ おなかとあたまをぴったんこ・・・ ペンギンおやこのうごきにあわせて、さあ いっしょにからだをうごかしましょう！</p>	<p>やさいさん tupera tupera/さく 学研プラス 2010 <input type="text" value="Eツ"/></p> <p>はだけにかくれている、やさいさんはだーれ？ ひっぱってぬいてみよう！すっぽーん、とでてきたのは、にんじん、だいこん、じゃがいもにモグラ？</p> <p>子どもといっしょにめくってたのしい、しかけ絵本です。</p>

3才～

<p>えんそくおにぎり 宮野聡子/作 講談社 2013 <input type="text" value="Eシ"/></p> <p>えんそくをたのしみにしているきみちゃんは、おにぎりがだいすき。お母さんにおしえてもらい、じぶんのおべんとうのおにぎりをにぎります。</p> <p>みんなで山にのぼり、てっぺんで食べるおべんとうは、とてもおいしそうです。</p>	<p>おすしのずかん 大森裕子/作 白泉社 2016 <input type="text" value="Eオ"/></p> <p>まぐろ、たまご、うに、いくら・・・みんなが大すきなおすし。おすしになる前はどんなすがたをしているか、知っていますか？いろいろなしゅるいのおすしと、そのおすしの「もとのすがた」をえがいた、とてもたのしい、そしておいしそうな絵本です。</p>
<p>だめだめすいか 白土あつこ/作・絵 ひさかたチャイルド 2007 <input type="text" value="SEシ"/></p> <p>たっくんは、じいじのところへすいかをとどけるために、かんかんでりの山道をおもひながら歩いています。そこへ、いっぴきのたぬきがあらわれて、「ねえねえ、すいかわりってしてっる？」・・・</p> <p>たっくんは、ちゃんとじいじにすいかを届けることができるかな？</p>	<p>ど「どあい」の「ど」をみつけよう 白いざわかつあき/作 こやまともこ/絵 白泉社 2016 <input type="text" value="SEフ"/></p> <p>ジュースをのむときは、ちびちび、ごくごく、かぶかぶ。パパのひげは、つるつる、じょりじょり、もじゃもじゃ。いろいろなものの、たくさんと、ほどほど、ちょっぴりをあらかわすことばがたのしい絵本です。</p>

5才～

<p>あげます。 浜田桂子/作 ポプラ社 2014 Eハ</p>  <p>妹<small>いもうと</small>が生まれてとまどうおにいちゃん。妹<small>いもうと</small>をだれかにあげれば良いと思いつき、ちらしをくばったり、妹<small>いもうと</small>にきょうけいをおしえます。そうしているうちに、いもうととなかよしになっていきます。</p>	<p>おたからパン 真珠まりこ/作・絵 ひさかたチャイルド 2016 Eシ</p> <p>「おたからパン」というおいしいパン屋さんに“おたから”をぬすもうとする男<small>おとこ</small>がしのびこみました。でも、お店の親方<small>おやかた</small>に見つかってしまい「おたからがほしいならここではたらけばいい」といわれ、毎日<small>まいにち</small>パンづくりの修業<small>しゆぎょう</small>をしました。男<small>おとこ</small>は“おたから”を手<small>て</small>に入れることができるのでしょうか？</p>
<p>クルツのごきげんしゃしんかん 加藤晶子/作 講談社 2016 Eカ</p> <p>まちはすれにあるクルツのしゃしんかんでは、どうぶつたちのいろいろなやみやもんだいを、クルツと助手<small>じゆしゆ</small>のチュータがたちまち解決<small>かいけつ</small>！そして、みんなのごきげんな写真<small>しやしん</small>をとってくれます。どんな写真<small>しやしん</small>がとれるかな。</p>	<p>それゆけ！きょうりゅうベースボール大決戦 リサ・ホイラー/作 バリー・ゴット/絵 ひさかたチャイルド 2012 Eコ</p> <p>きょうりゅうたちのベースボール対決<small>たいけつ</small>！きょうの試合<small>しあひ</small>は「グリーン・ソックス」対「レッド・ファイターズ」。</p> <p>同点<small>どうてん</small>でむかえた最終回<small>さいしゅうかい</small>、アパトサウルスが打<small>う</small>ったボールがホームランなら「グリーン・ソックス」の勝ちです。さて結果<small>けつこ</small>は？</p>

10才～

<p>えんとつと北極のシロクマ 藤原幸一/写真と文 少年写真新聞社 2016 Eフ</p> <p>今、北極<small>ほっきょく</small>はどんどん暖<small>あたた</small>かくなっています。そのせいで昔よりも海の氷<small>こ</small>が溶けるのが早<small>はや</small>くなって、シロクマたちはなかなかえさを見つけられませんか。なぜ、北極<small>ほっきょく</small>は暖<small>あたた</small>かくなってしまったのでしょうか？地球<small>ちきゅう</small>をよりよくするためにはどうすればよいか、考えるきっかけになる絵本です。</p>	<p>ぼくがラーメンたべてるとき 長谷川義史/作・絵 教育画劇 2007 Eハ</p>  <p>ぼくがラーメンたべてるとき、となりでミケがあくびした。となりでミケがあくびしたとき、となりのみっちゃんは……。遠く遠く離れた国<small>くに</small>では今この瞬間<small>しゆんかん</small>、何が起きていたのだろう。平和への願い<small>ねがひ</small>が込められた絵本。</p>
<p>タケノコごはん 大島渚/文 伊藤秀男/絵 ポプラ社 2015 Eイ</p> <p>パパが子供のころ、日本<small>にほん</small>は戦争<small>せんそう</small>をしていました。世界的映画監督<small>えいがのくわんたく</small>が、自分の子どもに向けて書いた、少年時代の悲しい思い出<small>おもひで</small>。切ない物語<small>ものがたり</small>と胸<small>むね</small>に迫る絵が、戦争の悲しさと平和の尊<small>とうと</small>さを考えさせます。</p>	<p>ネビルってよんでみた ノートン・ジャスター/文 G・ブライアン・カラス/絵 BL出版 2012 Eカ</p> <p>知らない町<small>まち</small>にひっこしてきたぼく。誰もぼくのことを知らない寂しさから、街角<small>まちかど</small>に立<small>た</small>って「ネビル！」という名前<small>なまえ</small>を呼<small>よ</small>んでみると、男の子<small>おとこ</small>がやってきて、いっしょにネビルを呼<small>よ</small>びはじめた。そのうちどんどん子どもが集<small>あ</small>ってきて…。</p>

保護者

<p>アンジェロ デビッド・マコーレイ/作・絵 ほるぷ出版 2006 Eマ</p> <p>古い教会の壁<small>かべ</small>をぬりかえ、彫刻<small>てうこく</small>に新しい命<small>いのち</small>を吹き込む仕事<small>しごと</small>をしているアンジェロじいさん。ある日、弱<small>よわ</small>ったハトを助けてからいつも一緒にいるようになりましたが、アンジェロじいさんの体調<small>たいちゆう</small>がだんだんと悪<small>わる</small>くなり……。</p> <p>おじいさんとハトの心温まる交流<small>かうりゆう</small>が描<small>えが</small>かれています。</p>	<p>ジャーニー アーロン・ベッカー/作 講談社 2013 Eハ</p> <p>部屋のすみっこで見つけた魔法<small>まほう</small>のマーカーを使って、不思議な旅<small>たび</small>へ出かけよう！</p> <p>アメリカで、大人たちもまきこんで大人気<small>おとなげ</small>となった、字のない絵本。旅好きの作者<small>さくしや</small>が描く、ジブリ作品<small>さくしや</small>のようなファンタジー世界<small>せかい</small>が心地よい1冊。</p>
<p>つみきのいえ 加藤久仁生/絵 平田研也/文 白泉社 2008 Eカ</p> <p>海<small>うみ</small>に沈<small>しず</small>んでいってしまう家に、一人ぼっちで住<small>す</small>んでいるおじいさんがいます。海<small>うみ</small>に沈<small>しず</small>むと、その上に新しい家<small>いへ</small>を作るのです。どうして、そんな家に住<small>す</small>んでいるのでしょうか？そこにはおじいさんにしか分からない大切な理由<small>りゆう</small>があるのです。</p>	<p>ぼくおかあさんのこと…… 酒井駒子/文・絵 文溪堂 2000 Eサ</p> <p>「ぼく、おかあさんのこと……キライ！」ビックリな一言<small>ひとこと</small>から始まるおはなし。おかあさんがキライな理由<small>りゆう</small>をあれこれ言ううさぎ<small>うさぎ</small>くん<small>くん</small>にドキリとします。うさぎくんの気持ち<small>こころ</small>、おかあさんに届<small>とど</small>かな。</p>